

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月26日（火）

2 確認箇所

- ・ 1号機原子炉建屋（1／2号機超高压開閉所から確認）（図1）
- ・ 瓦礫類一時保管エリアAA（図1）

3 確認項目

- （1） 1号機原子炉建屋大型カバーの設置状況
- （2） 瓦礫類一時保管エリアAAの状況

4 確認結果の概要

（1） 1号機原子炉建屋大型カバーの設置状況

1号機原子炉建屋からの使用済燃料取り出しは、建屋全体を覆う大型カバーを設置後に実施する計画としており、現在、大型カバー設置工事のうち上部架構及びボックスリングの設置作業が行われている。

一方、令和7年6月16日にクローラークレーン（以下「クレーン」という。）でボックスリングを1号機原子炉建屋東側へ設置している際に、クレーンの巻き下げ操作ができない状態が発生した。また、同月27日にはクレーンのバランスをとる重りを調整するシリンダーの動作不良が確認されたため、一時的に設置作業を中断した経緯がある。これら不具合に対する原因究明及び対策が講じられ、7月19日に作業再開となっていることから、今回も作業が継続している大型カバー設置の状況について確認した。（前回確認：[令和7年7月22日](#)）

- ・ 確認時、オペフロー階の西側においてクレーンを用いた作業（外周鉄骨撤去）が実施されていた。また、1号機原子炉建屋東側において、ボックスリングの設置工事が進められていた。（写真1、2）。
- ・ 建屋西側及び北側の地上部分では、クレーン周囲に多数の作業員が配置され、ボックスリング設置工事関連作業及び重機運転に係る補助作業（ゴム敷シート移動作業等）が行われていた。（写真3）

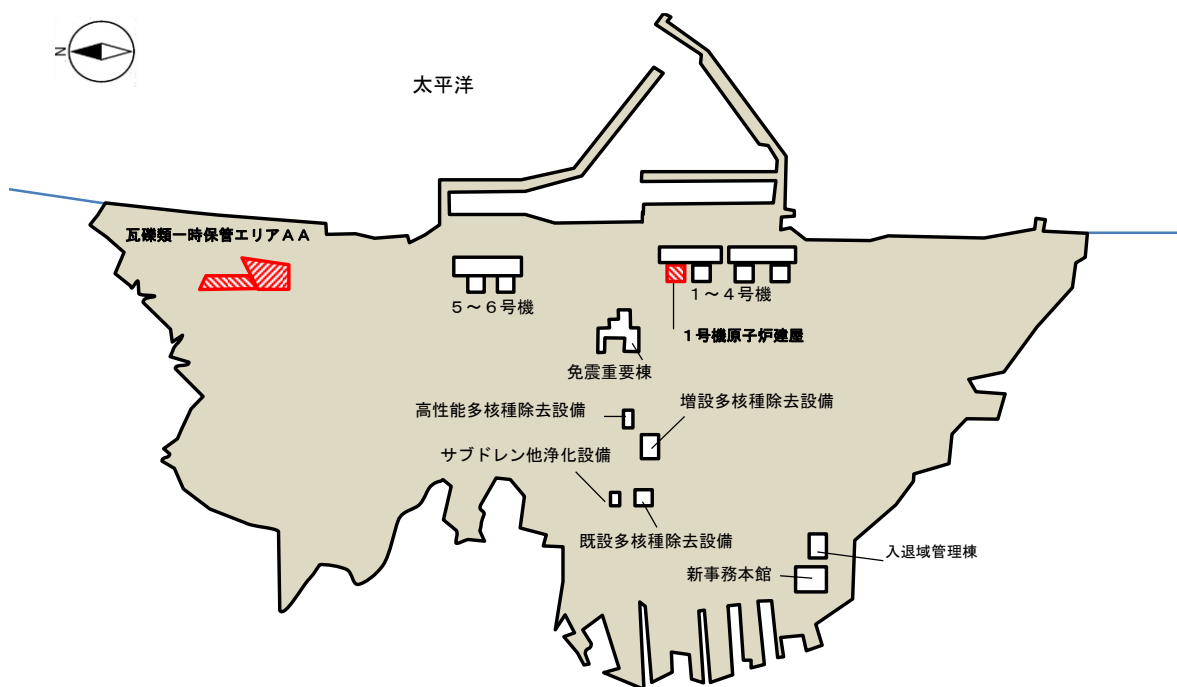
（2） 瓦礫類一時保管エリアAAの状況

東京電力は、廃棄物管理の適正化の一環として、瓦礫類一時保管エリアAA（以下「エリアAA」という。）に隣接する使用済保護衣等一時保管エリアi（以下「エリアi」という。）の一部を編入し、エリアAAの拡張を行ったことから、その状況を確認した。（前回確認：[令和6年8月19日](#)）

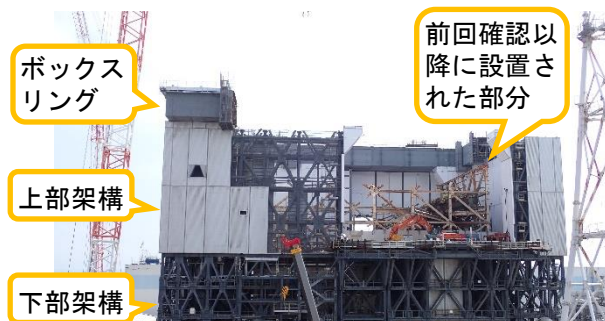
- ・ エリアAAの20 ftコンテナ（以下「コンテナ」という。）は、傾きや転倒

はなく、適正に配置されていた。また、確認した範囲において内容物の流出等はなかった。(写真4)

- ・ 前回確認時には、上下のコンテナ同士は、専用の連結治具で固定されていたが、今回の確認においては、移動に向けた準備のため取り外されていた。(写真5)
- ・ エリアiの一部はエリアAAに編入されており、コンクリート打設工事が完了した箇所へのコンテナ搬入が前回確認時から進んでおり、エリア周辺の線量測定結果も表示(0.003mSv/h)されていた。(写真6、7)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 大型カバー全景



(写真1②) 建屋南西側



(写真 2 ①) 建屋西側 (拡大)



(写真 2 ②) 建屋北西側 (拡大)



(写真 3 ①) 建屋地上部での作業①



クローラークレーン周囲に多数の作業員

(写真 3 ②) 建屋地上部での作業②



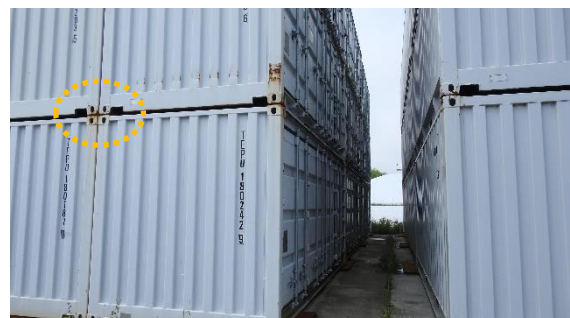
(写真 4 ①) コンテナ保管状況



(写真 4 ②) コンテナ保管状況



(写真 5 ①) コンテナの積上げ状態



(写真 5 ②) 固定治具は取外し済



(写真6①) エリア AA 拡張部



(写真6②) エリア AA 拡張部



(写真7①) エリア AA 区画と表示



(写真7②) 線量測定結果の掲示

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。